

**公共政策学連携研究部**

I	研究水準	.....	研究 15-2
II	質の向上度	.....	研究 15-2

## I 研究水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

### 1. 研究活動の状況

期待される水準を上回る

[判断理由]

「研究活動の実施状況」のうち、研究の実施状況については、先進的な政策課題に取り組み、政策選択を提示するという実務志向の研究目的に沿って、3つの寄付講座と1つの共同研究部門を中心にワークショップやフォーラムを実施しながら、研究を展開している。研究資金の獲得状況については、年平均1億円近くの外部資金を積極的に調達していることなどは、優れた成果である。

以上の点について、公共政策学連携研究部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、研究活動の状況は、公共政策学連携研究部が想定している関係者の「期待される水準を上回る」と判断される。

### 2. 研究成果の状況

期待される水準にある

[判断理由]

「研究成果の状況」について、社会、経済、文化面では、実務志向の研究資源を活用しながら、エネルギー・地球環境の分野、社会と法制度設計の分野、リスクマネジメントと公共政策の分野において、実務的提言につながる優れた成果を上げており、また、国際交通システムの分野においても相応の成果を上げているなどの相応な成果がある。

以上の点について、公共政策学連携研究部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、研究成果の状況は、公共政策学連携研究部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

## II 質の向上度

### 1. 質の向上度

相応に改善、向上している

当該組織から示された事例は3件であり、そのすべてが、「大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している」または「相応に改善、向上している」と判断された。